

7. 秋田大学医学部（国立） AKITA UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE

<http://www.akita-u.ac.jp/>

〒010-8543 秋田市本道一丁目1番1号

電話018-833-1166

FAX018-834-8619

e-mail: soumu@hos.akita-u.ac.jp

教養課程

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

電話018-889-3193

FAX018-889-3194

e-mail: kyomu@jimmu.akita-u.ac.jp

専門・教養課程所在地間の最寄交通機関による所要時間 約10分

1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）部門を独立して設けている。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は2年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）と専門教育とで常に別々に開催される。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示しており、その印刷物をシラバスという。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらずすべて3年生に編入する。

編入生の編入時期はすべて4月である。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは2日間合宿して行う。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1年生である。

その期間と内容：1年生：2日間：看護実習、施設体験実習

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。コアタイムの時間は

2年生は、平均して週3.3時間×年間19回である。

3年生は、平均して週2.6時間×年間33.8回である。

4年生は、平均して週3時間×年間24回である。

自習用に割り当てられている時間は

2年生は、平均して週15.8時間×年間94.8回である。

3年生は、平均して週6.7時間×年間87.1回である。

4年生は、平均して週7.7時間×年間61.6回である。

チューターは主として基礎医学系と臨床医学系の教員が行う。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムをすべてにわたり採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、平成17年に行われ、それにはモデル・コア・カリキュラムを全面的に組み入れている。

「コア」以外のelectiveないしadvanced部分のカリキュラムの特色は下記のとおりである。

〈2年次〉
腫瘍病理学症例検討実習
循環病理学症例検討実習
形態形成の機構
生体における環境因子と宿主の反応
先天性代謝異常の分子病態学
感染症の伝播
免疫学研究のトピックス
医学統計学
ヘルスプロモーションと地域の健康福祉
システムとしての計算機と医療
神経科学研究の紹介
細胞内シグナリングとその研究
分子生物学遺伝子学実験実習
〈4年次〉
英語で医学―読もう、話そう―
マスター・コース血液・腎臓・膠原病学
アドバンスト・コース消化器病学
内分泌・栄養・代謝疾患の診断技術演習
呼吸器外科疾患の手術適応と最近の治療法
乳腺疾患における最近のトピックス
精神活動の評価法とその実際
臨床神経科学における最新テクノロジーの進歩
循環器外科
整形外科アドバンスコース
緑内障における最近のトピックス
泌尿器科臨床への実践演習
美しい肌を保つための美容皮膚科プラクティス
コミュニケーション障害への対応
めまいへの対応
画像解剖総論・各論
口腔外科疾患と医療における生体材料・再生医療
心肺蘇生法を通して学ぶ医療の標準化と成人教育
輸血医学と輸血事業
食道外科治療の変遷と進歩
臨床遺伝学
産婦人科における実地臨床の考え方
小児の黄疸、出生前診断と胎児治療
心肺蘇生セミナー
最新の疼痛コントロールの理論と実際
感染・免疫・アレルギー
循環器・呼吸器疾患診断の基本的技能を極める
医学統計学

K. 今後のカリキュラム改訂は今のところ予定していない。

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

な し

2. 選択制について

専門教科について選択制を採用している

専門教科で選択制としている教科は下記のとおりである。

〈2年次〉

腫瘍病理学症例検討実習
循環病理学症例検討実習
形態形成の機構
生体における環境因子と宿主の反応
先天性代謝異常の分子病態学
感染症の伝播
免疫学研究のトピックス
医学統計学
ヘルスプロモーションと地域の健康福祉
システムとしての計算機と医療
神経科学研究の紹介
細胞内シグナリングとその研究
分子生物学遺伝子学実験実習

〈4年次〉

英語で医学一読もう、話そうー
マスター・コース血液・腎臓・膠原病学
アドバンスト・コース消化器病学
内分泌・栄養・代謝疾患の診断技術演習
呼吸器外科疾患の手術適応と最近の治療法
乳腺疾患における最近のトピックス
精神活動の評価法とその実際
臨床神経科学における最新テクノロジーの進歩
循環器外科
整形外科アドバンスコース
緑内障における最近のトピックス
泌尿器科臨床への実践演習
美しい肌を保つための美容皮膚科プラクティス
コミュニケーション障害への対応
めまいへの対応
画像解剖総論・各論
口腔外科疾患と医療における生体材料・再生医療
心肺蘇生法を通して学ぶ医療の標準化と成人教育
輸血医学と輸血事業
食道外科治療の変遷と進歩
臨床遺伝学
産婦人科における実地臨床の考え方
小児の黄疸、出生前診断と胎児治療
心肺蘇生セミナー
最新の疼痛コントロールの理論と実際
感染・免疫・アレルギー
循環器・呼吸器疾患診断の基本的技能を極める
医学統計学

3. 一般教育（教養）について

A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。

一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一緒に受ける。

B. 他大学との単位互換について認めている。

C. 医学部のみの大学に伺います。

一般教育（教養）の教員の所属はほとんどが自大学の所属である。

D. 一般教育（教養）部門では一部が選択科目で、それは一般教育（教養）の約20%である。

- E. 平成19年新入生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生数は30%であった。
「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業をしている。
- F. 平成19年新入生にはセンター試験が導入されていた。
入学者のうち「生物」を選択していた学生は約44%であった。
4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について
- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、全員が
3年生の時に平均して1週40時間×7週間配属される。
5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について
- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。
（19日間）
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入してはいない。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）
5年の時、1週33時間で、36週間である。
6年の時、1週33時間で、10週間である。
6年の時、1週33時間で、3週間である。
- C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）
で臨床実習を行っている。
その期間は全部で3週で、そこで行う実習科目は（地域包括保健・医療・福祉実習）である。
この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。
- E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の
範囲、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。
臨床実習の評価結果は可否（進級）には関係せず、本人にフィードバック（形成評価）されるのみである。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については
事前に学習枠を設けて学習している。
保険制度に加入している。
ワクチン接種を行っている。
6. 学生の海外における実習について
- A. 学生の海外における実習は基礎医学実習と臨床実習の両方を行う機会がある。
期間は最長 基礎医学実習は12週
臨床実習は 4週である。
7. 評価について
- A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、4年終了時である。
- B. 成績の記録法は点数・可否・段階などの混合による方法を採用している。
- C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは総合的な試験である。
時期は9月から11月まで、期間は1週間（長期休暇期間を除く）である。
- D. 6年生の10月以降には、補講が組まれている。
また、大学による国家試験対策のための特別な講義が組まれている。
- E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、同僚、学生、自
己である。
自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。
その評価結果は昇進などに関係しない。

F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われたことはない。

8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

A. 教員数（平成19年12月現在）

		教 養*	基 礎**	臨床***	附属研究施設	その他	合 計
常勤 (有給専任)	教 授		13	22			35
	准教授		5	25			30
	講 師		5	32			37
	助 教		22	92			114
	その他						0
	合 計	0	45	171	0	0	216

非常勤(客員・無給を含む)	教 授		2	37			39
	准教授			75			75
	講 師	12	50	142			204
	助 教						0
	その他						0
	合 計	12	52	254	0	0	318

* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

** 基礎は社会医学を含む。

*** 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。

- ・ 本学の規定で定められた教育研究施設に限定して導入している。
- ・ 任期は3～5年。
- ・ 任期を定めて採用した教員を再任しようとする場合には、関係会議で審議を行う。
- ・ 教員を任期を定めて採用する場合には、あらかじめ当該者の同意を得ている。

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、全員が加入している。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数	うち 女子 人数	うち学士編入者数	うち今年度留年者 数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人 留学生	うち 女子 人数
1	97	43		2	1		
2	96	36		4	1		
3	103	40	5	1			
4	106	45	6	6	2		
5	99	50	4				
6	108	45		6	1	1	1
合計	609	259	15	19	5	1	1

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数375名、合格者数97名、倍率3.9倍

入学者数95名、（定員95名、うち推薦入学者数30名）

入学者の状況：現役45名、1浪34名、2浪14名、その他2名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している

センター試験で理科を何科目課しているか

2単科目

11. 平成19年（今年）の1年生以外の編入学状況

編入学者数／応募者数

3学年5／222

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数438名、合格者数95名、倍率4.6倍

入学者数95名、（定員95名、うち推薦入学者数30名）

入学者の状況：現役51名、1浪22名、2浪14名、その他8名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

A. 編入学者数／応募者数 として表示してください。

3学年5／258

B. 編入学者地域わくについて

地域わくは無い。

今後どのように考えていますか。

導入する予定はない

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL／ チュートリアル
1		○		445	38	0
2	○			627	391	19
3	○			668	252	33.8
4	○			980	267	24
5	○			0	1153	0
6	○			0	400	0

（アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。）

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年ない

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
A	B	F C	D E		G

（註） A：教養基礎教育

B：医学一般（個体の構成と機能、原因と病態）

C：人体各器官の正常構造と機能、病体、診断、治療

D：全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療

E：診療の基本

F：医学・医療と社会

G：臨床実習

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
〈2 年次〉			
個体の構成と機能	197	108	305
臓器の機能	73	16	89
個体の反応	53		53
原因と病態	75	48	123
感染症・生体防御学実習	1	48	49
生体機能学実習		35	35
医の倫理と生命倫理	11		11
生体分子解析学実習		33	33
課題探求	8		8
医療情報	12		12
「選択科目」			
腫瘍病理学症例検討実習	4	29	33
循環病理学症例検討実習	5	28	33
形態形成の機構	33		33
生体における環境因子と宿主の反応	27		27
先天性代謝異常の分子病態学	17		17
感染症の伝播	8	5	13
免疫学研究のトピックス	16		16
医学統計学	15		15
ヘルスプロモーションと地域の健康福祉	11	1	12
システムとしての計算機と医療	15	7	22
神経科学研究の紹介	13		13
細胞内シグナリングとその研究	33		33
分子生物学遺伝子学実験実習		33	33
〈3 年次〉			
社会環境と健康	23		23
疫学と予防医学	23		23
人の死・死と法	28		28
福祉と介護	25		25
社会医学実習	12	16	28
生活習慣と疾病	13		13
危機管理・チーム医療	15		15
放射線医学	20		20
基礎配属	7	220	227
循環器	85	4	89
消化器	108	3	111
呼吸器	64		64
皮膚	11		11
視機能の成立と眼科疾患	36		36
耳鼻咽喉	25	3	28
運動器	56	5	61
腎	27	1	28
泌尿器	23		23
生殖機能	67		67

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
〈4 年次〉			
婦人科	33		33
造血	52		52
成長と発達	49		49
精神	40		40
神経	80		80
感染症	52	3	55
内分泌	36		36
免疫・アレルギー／物理・科学的因子疾患	25		25
加齢と老化	24		24
臨床研究と医療	13		13
乳房	16		16
死の社会医学実習	5	19	24
臨床検査と診断学	21		21
基本的診療知識	124		124
安全管理・医療情報	28		28
救急医学	25		25
統合内科学	27		27
症候・病態からのアプローチ	32	20	52
基本的診療技能	15	31	46
「選択科目」			
英語で医学一読もう、話そうー	1		1
マスター・コース血液・腎臓・膠原病学	17	16	33
アドバンスト・コース消化器病学	23		23
内分泌・栄養・代謝疾患の診断技術演習	4	8	12
呼吸器外科疾患の手術適応と最近の治療法	13	20	33
乳腺疾患における最近のトピックス	4	13	17
精神活動の評価法とその実際	13	15	28
臨床神経科学における最新テクノロジーの進歩	16	16	32
循環器外科	13	20	33
整形外科アドバンスコース	15	4	19
緑内障における最近のトピックス	13		13
泌尿器科臨床への実践演習	4	15	19
美しい肌を保つための美容皮膚科プラクティス	5	8	13
コミュニケーション障害への対応	11	5	16
めまいへの対応	12		12
画像解剖総論・各論	13		13
口腔外科疾患と医療における生体材料・再生医療	8	9	17
心肺蘇生法を通して学ぶ医療の標準化と成人教育	16	13	29
輸血医学と輸血事業	16	12	28
食道外科治療の変遷と進歩	3	16	19
臨床遺伝学			
産婦人科における実地臨床の考え方	5	4	9
小児の黄疸、出生前診断と胎児治療	11		11
心肺蘇生セミナー	12		12
最新の疼痛コントロールの理論と実際			
感染・免疫・アレルギー	20		20
循環器・呼吸器疾患診断の基本的技能を極める			
医学統計学	15		15
〈5 年次〉			
臨床実習		1153	1153
〈6 年次〉			
臨床配属		300	300
地域包括保健・医療・福祉実習		100	100
合 計	2275	2463	4738

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年			0
2 学年	627	391	1018
3 学年	668	252	920
4 学年	980	267	1247
5 学年		1153	1153
6 学年		400	400
合 計	2275	2463	4738

16. その他の教育内容

独立した科目として授業が行われている科目：

医学外国語（選択）、医療安全（必修）、医の倫理（必修）、緩和ケア（必修）、医療情報学（必修）、
高齢医学（必修）、在宅ケア・介護（必修）、プライマリ・ケア（必修）、臨床医学（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

医史学、人類遺伝学（臨床遺伝学）、医用（電子）工学、行動科学、医療福祉学（医療社会福祉学）、
医療経済、家庭医学、人間関係学、医療保険

18. MD-PhDコースを設置している

（在籍者は、0名。）